

## JGA 第三支部研修「丹波篠山地方を歩く」終了報告

2020（令和 2）年 11 月 29 日（日）

11 月 29 日（日）11 名の皆様にご参加いただき、標記研修が無事終了いたしました。さわやかな晩秋の晴天の高い青空、澄んだ空気と、豊かな自然に恵まれた丹波篠山市の、河原町妻入り商家群（国重要伝統的建造物保存地区）から篠山城跡を地元のベテランガイド様にご案内いただきました。江戸時代から受け継がれ、今なお千本格子や出格子窓、むしこ窓、袖うだつなどに城下町の繁栄の名残と風情を色濃く残す城下町のどこか懐かしい風景を興味深く楽しませていただきました。今でも材料調達から仕上げまですべて手作りの畳屋さん、丹波焼の古陶館、能楽資料館、負け嫌稲荷は美しい鳥居の重なりを桜やもみじ、紫陽花などが季節毎に美しい彩りを添え、篠山城跡の石積み、堀を彩る蓮の花、盆踊り歌として今も歌い続け伝えられている民謡デカンショ節などは訪れる旅人を静かに癒し、和ませてくれることでしょう。

自由昼食では、猪肉、とろろ、丹波栗、黒豆パンなどをそれぞれに賞味し、午後は今年最後の直行バスで立杭丹波焼の里へ向かいました。陶芸美術館では出石焼の特別展と丹波焼（日本六古窯の代表的な焼き物）の常設展、どちらも兵庫県を代表する焼き物で、貴重な伝統的芸術の奥深さと、静かな美しさを鑑賞することができました。その後こちらもお二人の地元ガイド様に御案内いただき、今なお現役の日本最古の登り窯（県指定有形民俗文化財）を見学することができました。長さが 47 メートルもあり、山を這うように登る窯は素晴らしい存在感で、火入れ時の幻想的な迫力を想像させてくれました。陶の郷にある「窯元横丁」は地元 60 件の窯元の焼き物を一堂に集めたまるで常設市で、それぞれ好みの作品のお買い物を楽しむことができます。

皆様マスク着用で、コロナ禍に対する防備はしながらではありますが、緑豊かな日本の原風景が凛と静かに息づいているような丹波の郷は秋深い森、山里、のどかな田園風景で、ひと時コロナ禍の拡大を忘れさせてくれました。ご参加いただきました皆様には深く感謝いたします。

第三支部研修担当者一同

